



今月は、笠井聖一さんが笠岡のまちについてさまざまな視点から注目します。

笠岡のまちが好きだから

まちの色

最近、さまざまな形、色の建物が乱立している。

生活様式の多様化からか？公共施設もその例外ではない。アメリカ風、ドイツ風、イタリ風、カナダ風、宇宙風？…など。

個々の施設を単体で見れば、それぞれ立派な建物であるのだが、周りの町並みと一体感がない建物が目に付くことが多い。

その他、歩道橋の色、陸橋の色、桟橋の色、ちよつとした色使いでもまちの景観は変



わってくるような気がする。

全国の市町村のなかには、「市の色」を制定し、統一した色でのまちづくりを進めているところがある。

笠岡市もそういった事例を参考にしてみてはどうだろうか。

まちの用務員室

昔、私が小学生だった頃、学校の中に用務員室というものがあつた。

学校の机とか、イスとかが壊れたら、用務員のおじさんに頼んで直してもらつたものである。その時一緒に直すのが楽しかった思い出がある。

一緒にかんをかけたり、釘を打ったり、道具の使い方をいろいろ教わつた覚えがある。

先日、子どもたちと一緒に公園へ散歩に行った時、公園のベンチの色がはげて少々みすぼらしくなつていた。ペンキでも塗ればいぶん見違えるのにとつた。道具でも貸してくれるところがあれば、子どもたちと一緒に塗りたい気分になつた。そんな時、町の用務員室があり、道具でも貸してくれたらなつと思つた。

まちの安全

最近、車が本当に増えた。

その割に生活道路の整備が遅れているような気がする。特に歩道の狭さは気になるところである。人がやつと一人歩け

るくらいの幅しかない歩道が多い。

高齢化社会を迎える今、歩行者を主とした道路整備が必要気がする。

また、最近では高齢者の足として、電動車イスの普及が急速に広がっている。車道の端を走っている姿を見るが、かなり危険な状態である。早急にその対策が必要な気がする。



るようには思えない。

現在、まちづくりに関してさまざまな審議会などが行われているようだが、その内容や審議過程が、まちに住む人たちに広く知られているとは言い難い。

審議会などの内容や審議過程をできるだけオープンにすることによって、住む人たちが我がまちのまちづくりに対して関心を持ち始めるのではないだろうか。

例えば、審議会などの様子も、可能な限り議会と同じように笠岡放送で放映してみてもいいだろうか？

まちに住む人

行政依存のまちづくりから、住民参画のまちづくりに変化してきている。

しかし、変わってきているといつてもまだまだ行政依存の体質はそんなに変わっていない。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についてのイラ立ち」があれば併せてどうぞ。

お便り：〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一一一

まちづくり推進課モニター係

☎ 2110 FAX 2180